



●右は気温27℃、湿度56%の日にジャベックスが行なった検証実験。人肌と同じくらいの温度にした水を注入し、うちわで風を当てる程度でも6℃くらい下がった。MACNA社はライダー向けのジャケットなどをリリースするオランダのメーカー



●水をフルに注入しても重量1kg以下で重さはほとんど無視できるレベル。生地はナイロンジャージ50%+ポリウレタン50%でゴワゴワすることもなく、洗濯も手洗いで可能



●右胸のキャップを開けて水を注入し、水を全体に染み渡らせる。冷却効果は8時間~72時間持続する。今回のテストでは約2日で空になった

いくらメッシュジャケットを着ていても、気温35℃超の猛暑日ともなると焼け石に水状態。頭がポーツとしてしまつて注意力も散漫になり、体調面から見ても安全面から見ても好ましい状態でないことは確かだ。

そんな悪条件をだいぶ軽減してくれるのが、この「MACNA ドライクールベスト」。内部の素材に吸収された水分が少しずつ蒸発する際の気化熱を利用して5℃~15℃の冷却効果を発揮するというもので、使い方はベストの右胸部にある注入口から500mlの水を入れるだけ。わかりやすくするために写真では上に何も着ていないが、メッシュジャケットなど風通しのいい上着の下に着用するのが正式な使い方。ちょうど35℃くらいの猛暑が続いたときに使ってみたのだが、これがなかなかの優れモノ。注水してしばらくすると、裏地の表面がほんのわずかにしっとりとした状態になってくるが、その下に着たものまでびしょぬれ（いすれにせよ汗でぬれるが）にするとということとはなく、至って絶妙なぬれ具合だ。

水だけなのでキンキンに冷えるわけではなく、やはり暑いことに変わりはないものの、氷を入れていない水枕を身に着けているような状態、とても言うのだからか。渋滞したなか、かつ直射日光にさらされる最悪の状況下で多少なりともヒヤッとした部分があるのはとてもありがたいもので、ヘタすると信号が赤から青に変わってもしばらく気づかないほどポーツとしてしまうところを、変わったことにすぐ気づくくらいには注意力の低下を防ぐことができる。

気化熱と風がキモなので50~60km/hも出せばだいぶひんやりしてくるが、ある程度の風があれば止まった状態でも結構効果を実感できる。一度使ったらなかなか手放せなくなるアイテムだ。

着るなら
今でしょ!

04. MACNA DRY COOL VEST

価格●1万2600円 カラー●ホワイト
サイズ●XS-M, L-XL, 2XL-3XL
●ジャベックス ☎03-3773-7633 <http://www.japex.net/>



●水を入れてもサラサラなのに、身に付けて走るとひんやりする。冷却効果は湿度と風によって左右され、湿度が高いと性能が低下する。着用する際には速乾性のあるスポーツインナーなどをベストの下に身に着けると、効果の実感を高めることができる

